

2019年8月28日 南相馬・避難20ミリ基準撤回裁判報告集会

南相馬20ミリ裁判原告の皆さんの 尿検査結果（中間報告）



NPO法人市民放射能監視センター（ちくりん舎）

副理事長 青木 一政

調査の目的

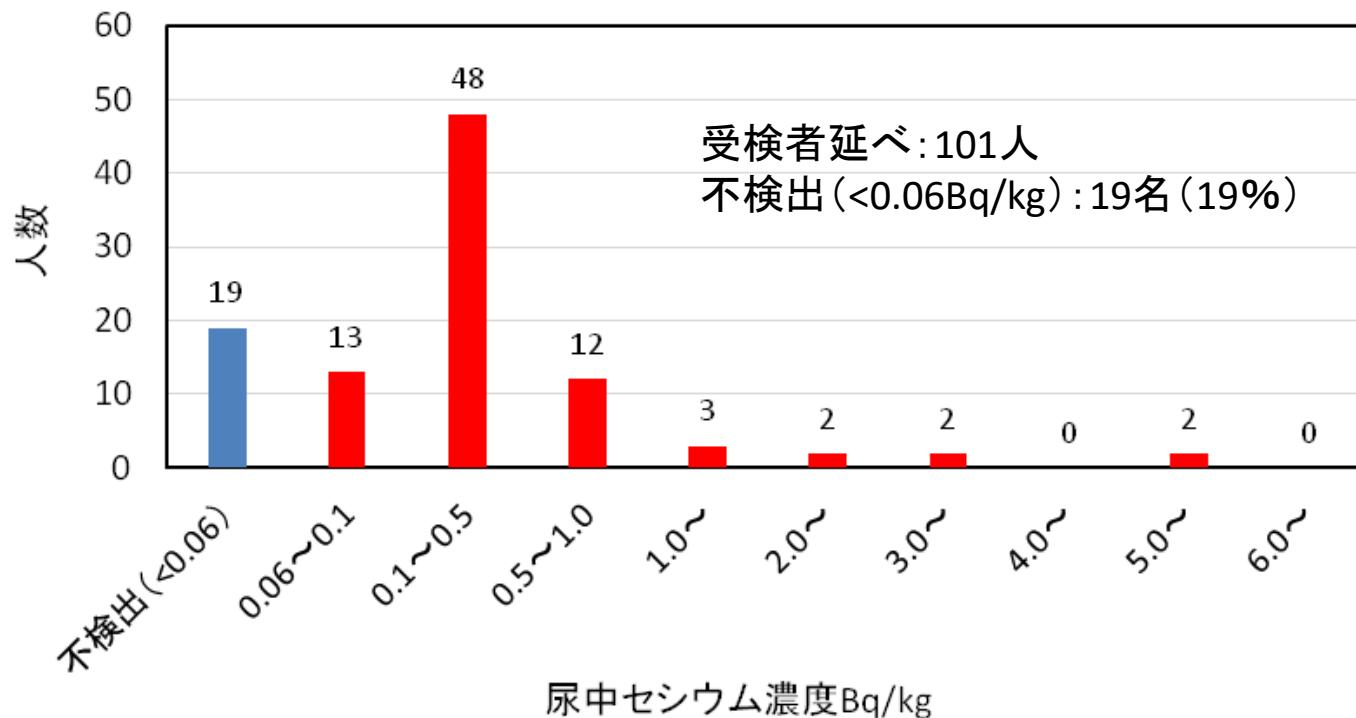
- 尿検査により南相馬20ミリ裁判原告（南相馬在住）の皆さんの内部被ばく状況を明らかにする。
- グリーンコープ生協さんのご協力により、西日本在住の方の尿検査を行い（当面50名を目標）、内部被ばく状況の違いを明らかにする。
- 尿検査の結果は本人に直接郵送で知らせるとともに、随時原告団学習会などで解説し内部被ばく低減に努める。
- 尿検査はホールボディカウンタによる測定に比べおよそ100倍程度感度が高いため、ホールボディカウンタでは検出できないレベルの内部被ばくの傾向を知ることができる。
- 内部被ばく状況の違いを明らかにすることで本裁判での原告側主張の根拠の一助とする。

調査の方法

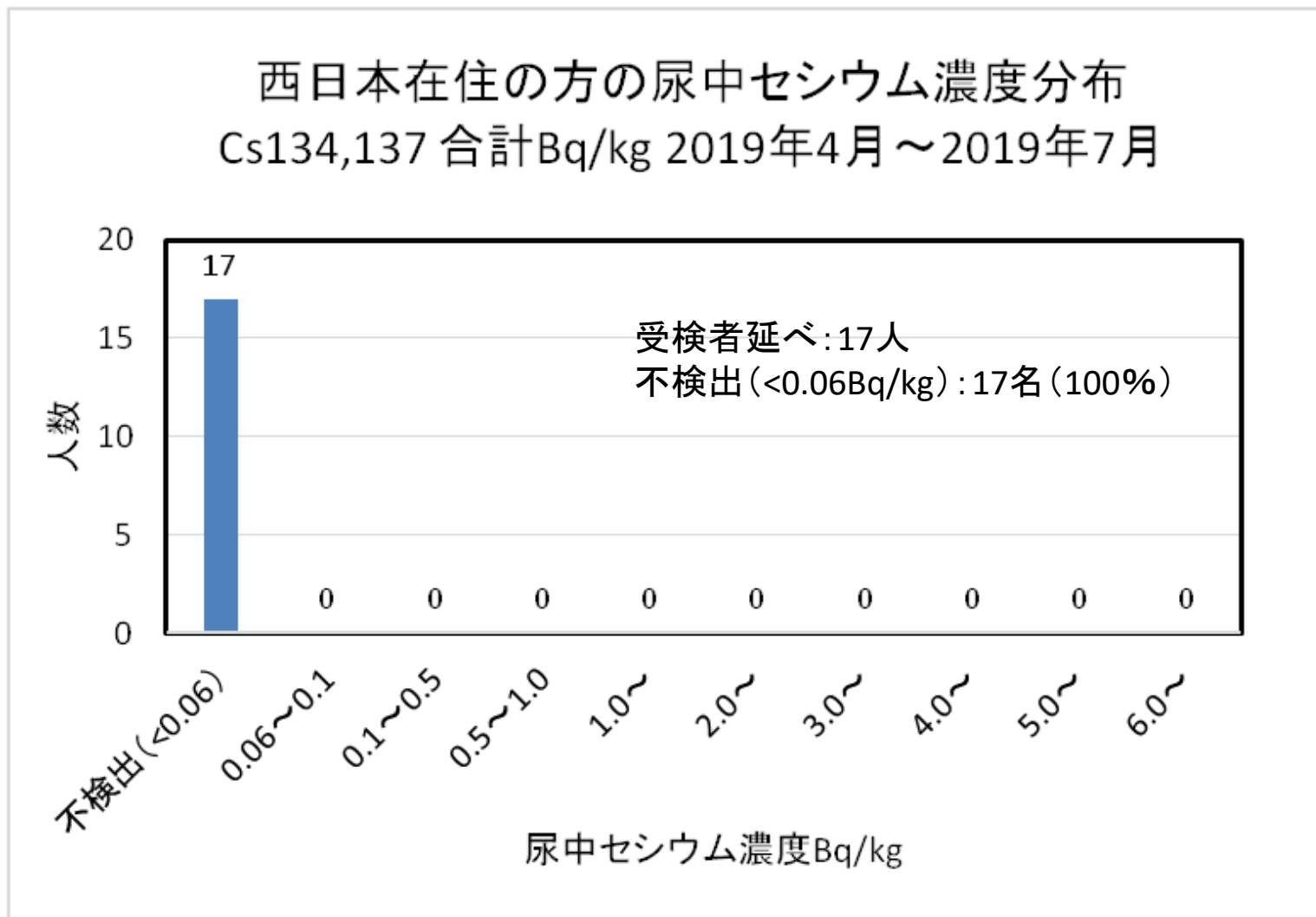
- 南相馬20ミリ裁判原告の皆さん：
南相馬市内在住。2017年8月調査開始。
- グリーンコープ協力者の皆さん：
福岡県、兵庫県在住。2019年5月より検査開始、当面50名を予定。
- 被験者より2リットルの尿を採取。
- ちくりん舎のゲルマニウム半導体測定器にて精密測定。
48時間計測、検出限界は0.05Bq/kg程度。

南相馬在住者の検査結果

南相馬在住の方の尿中セシウム濃度分布
Cs134,137 合計Bq/kg 2017年8月～2019年7月

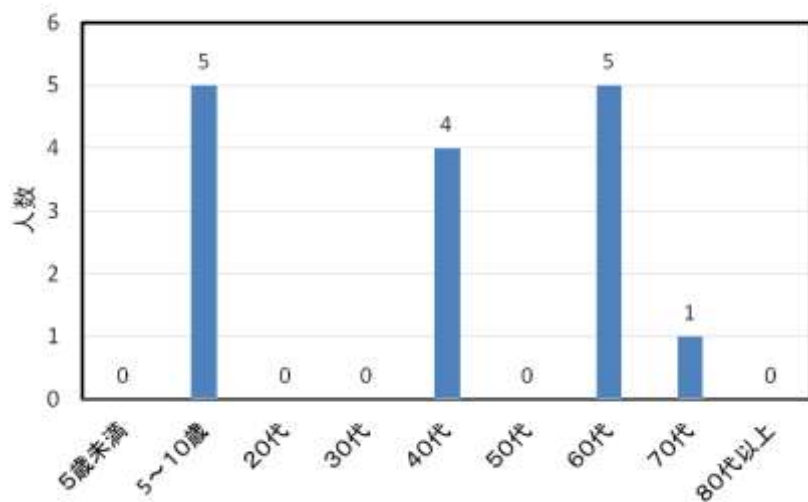


西日本（福岡県・兵庫県）在住者の検査結果

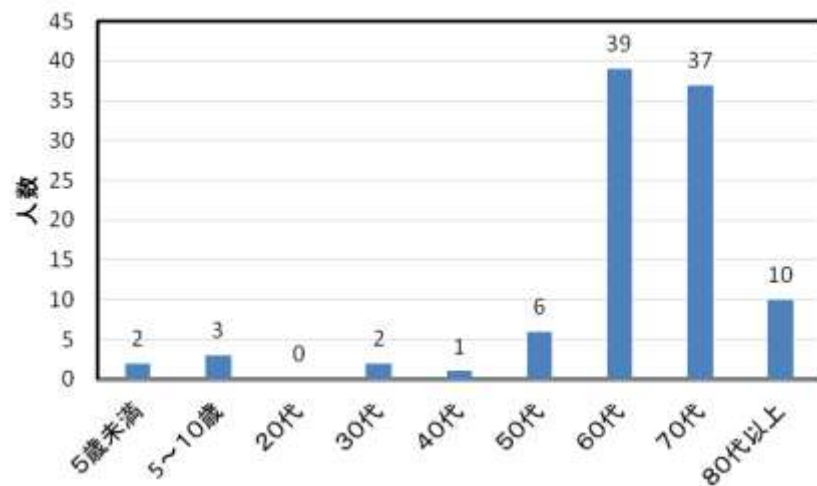


受検者の年齢分布

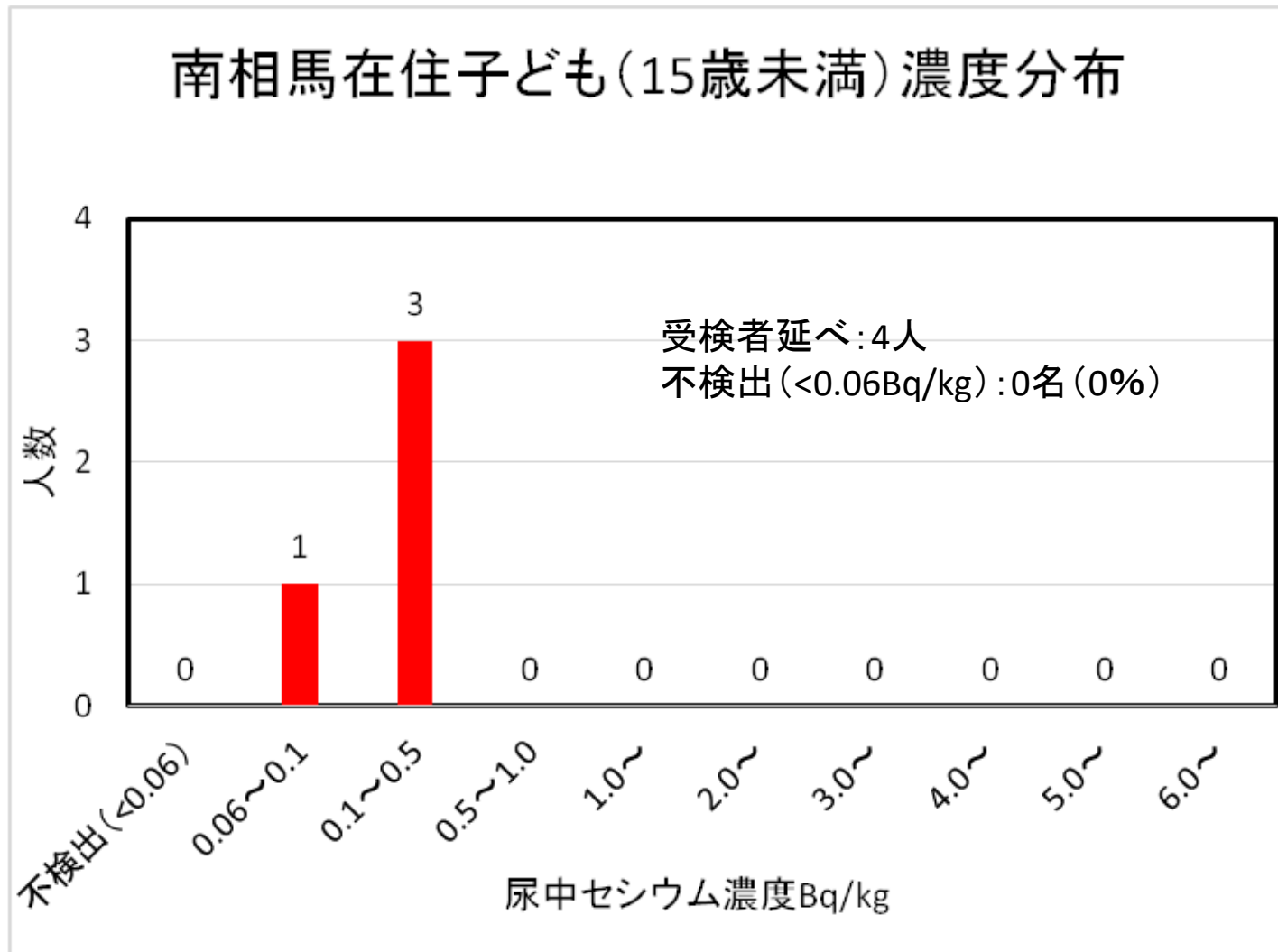
西日本在住尿検査受検者年齢分布



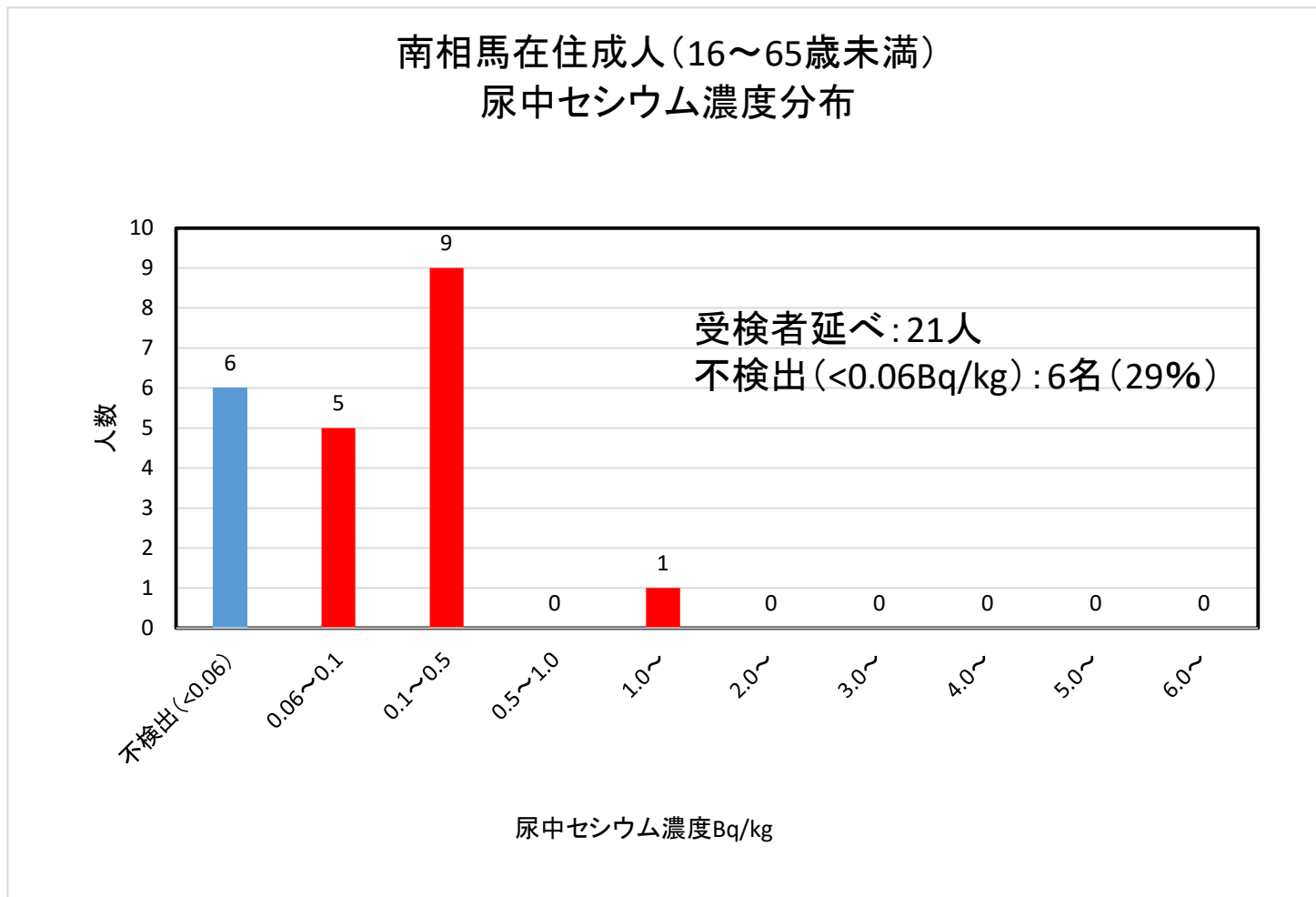
南相馬在住尿検査受検者年齢分布



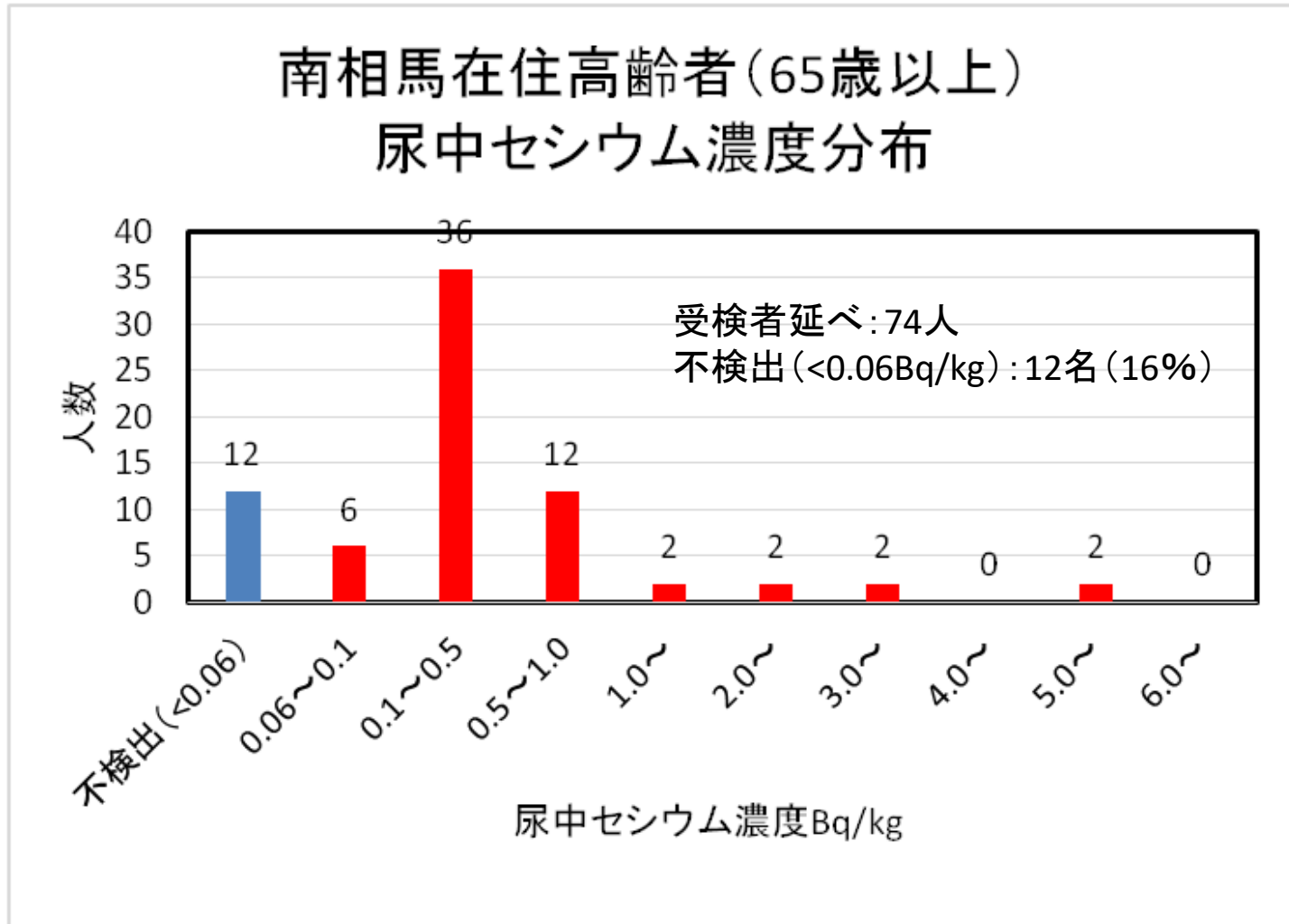
子ども（15歳未満）尿中セシウム濃度分布



成人（16～65歳未満）尿中セシウム濃度分布

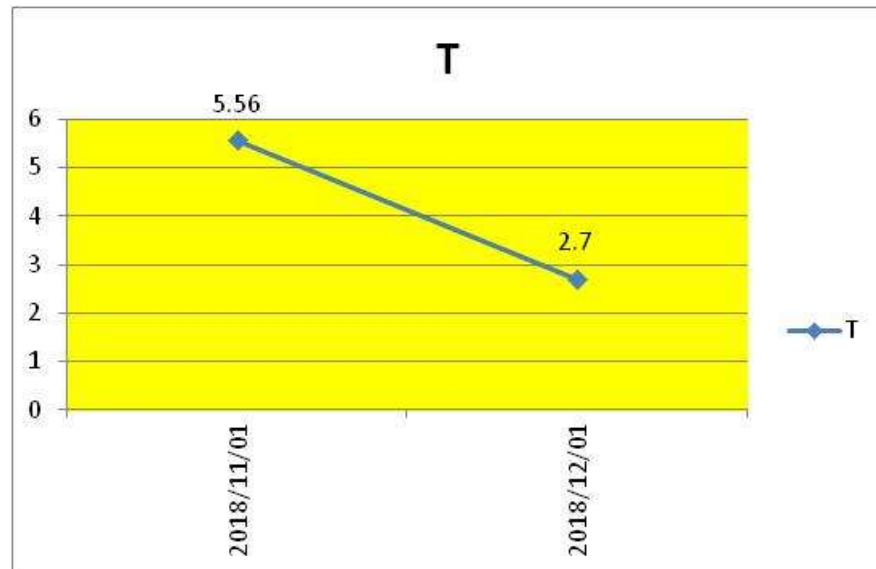
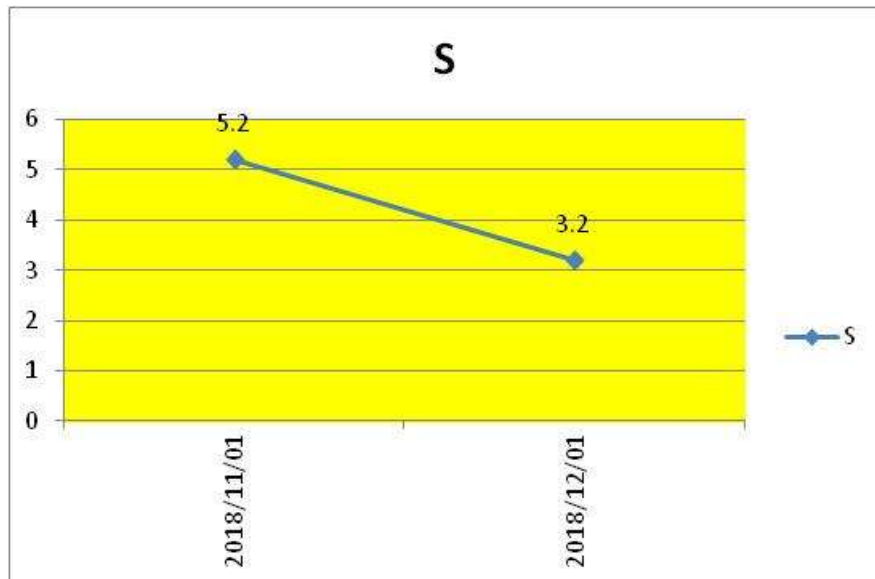


高齢者（65歳以上）尿中セシウム濃度分布

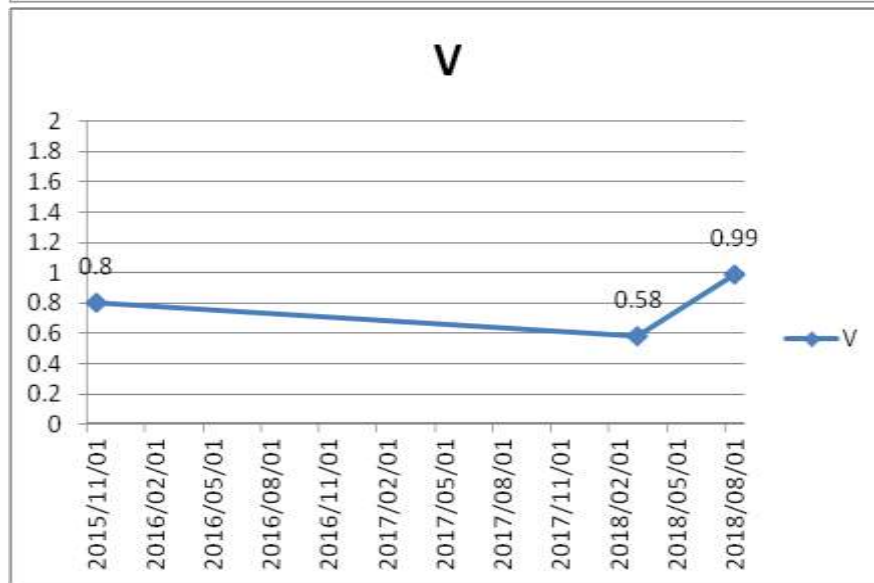
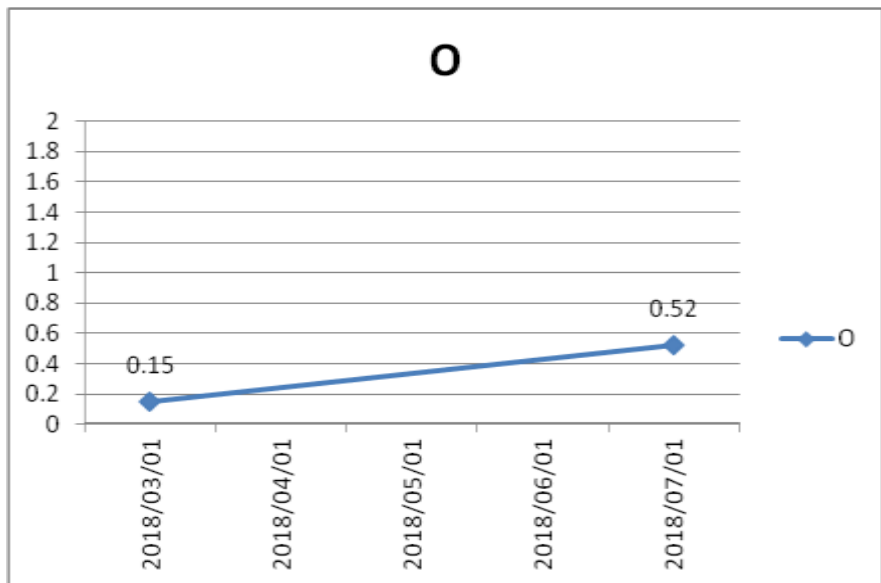
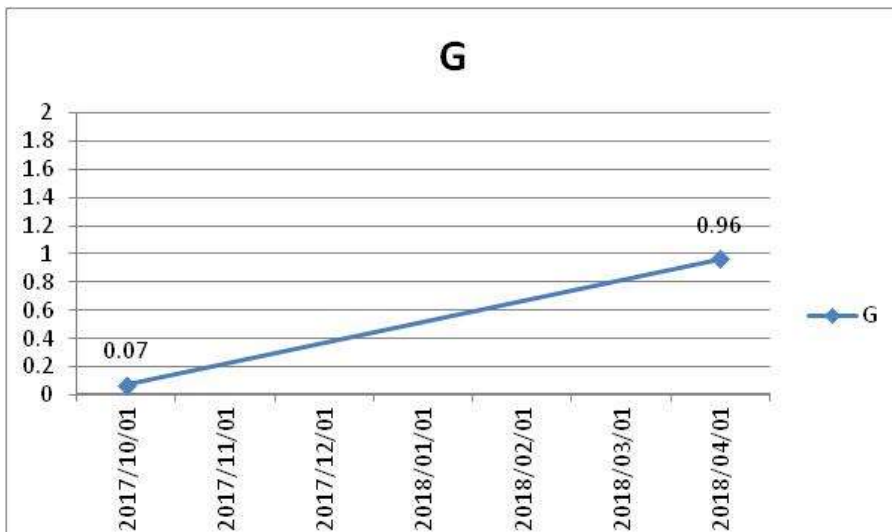
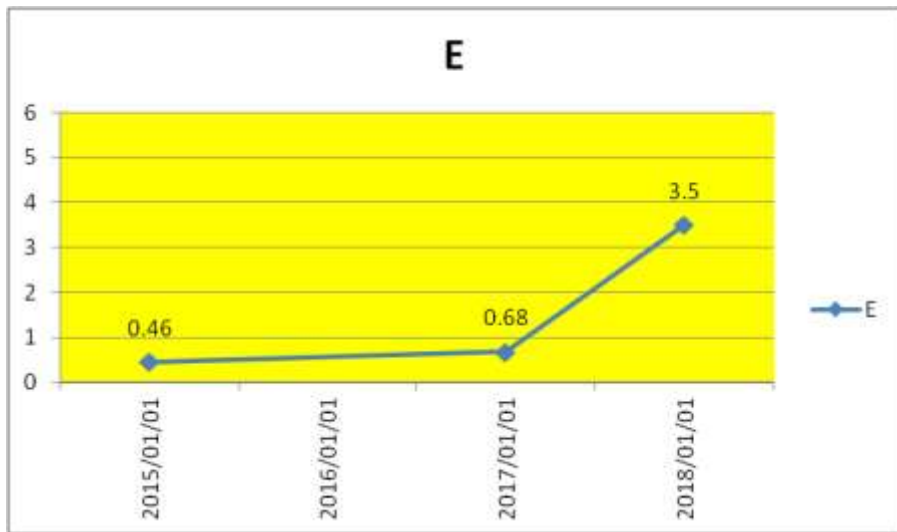


高め注意

縦軸0.0~6.0Bq/リットル



上昇注意



まとめと課題

- 南相馬在住者では不検出 ($<0.06\text{Bq/kg}$) は19%に対して西日本在住者では100%不検出。
- 南相馬在住者では平均は 0.27Bq/kg であるがばらつきが大きい。約1割の人が 1.0Bq/kg 以上である。
- 高いレベルの状態が継続している人、上昇する人がいる。 秋のきのこ類、いのしし肉、春の山菜等の食生活による影響と考えられる。
- 高齢者で高い人がいる傾向もうかがえるが、低年齢層ではサンプル数が少ないこともあり、はっきりとした差は認められない。
- 低年齢層、成人層にも対象を広げて検査の継続が必要。

ご清聴ありがとうございました。

